

最小-最大出力	2,580-5,160 kcal/hr (3.0-6.0 kw)
定格出力	4,300 kcal/hr (5.0 kw)
暖房面積	15~60 m <sup>2</sup>
重量	118 kg
最大薪長さ/立掛け時	25/35 cm
使用煙突径	150 mm [接続/上部]
燃焼効率	80.4 %
薪量目安	1.3 kg/hr
寸法	W450 H1,135 D450
炉内寸法	W290 H440 D280

※外気導入には、別途オプションのリア（後方）コネクションセットまたはボトム（床下）コネクションセットが必要です。

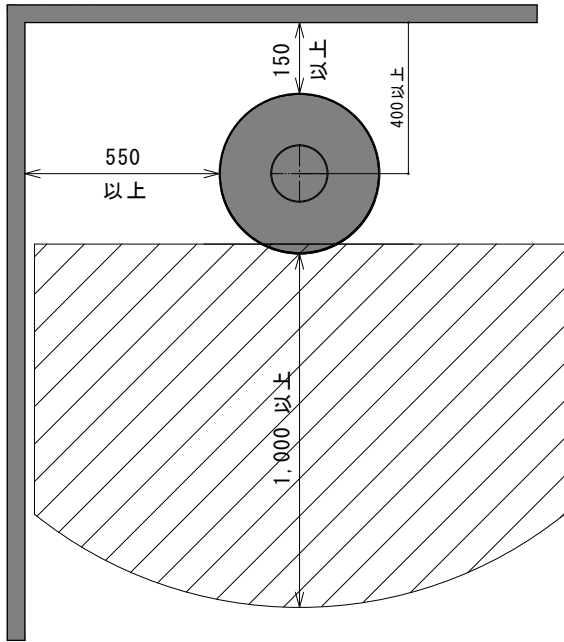
DATE	MEMO

**Nagano and Sohsoyo Company Limited**

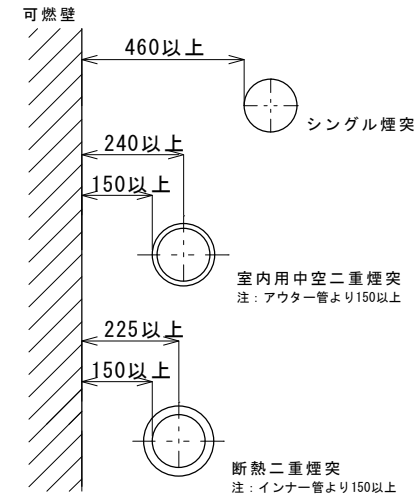
Phone: 0267-32-2353 Fax: 0267-32-2690

SUBJECT 承認図		SHEET TITLE hase デリ- 114	
SCALE 1 / 1 0	DATE '22102101	CHECK	DRAFT Kobayashi CON
			SHEET NO.

本体と可燃壁との離隔距離



煙突の離隔距離

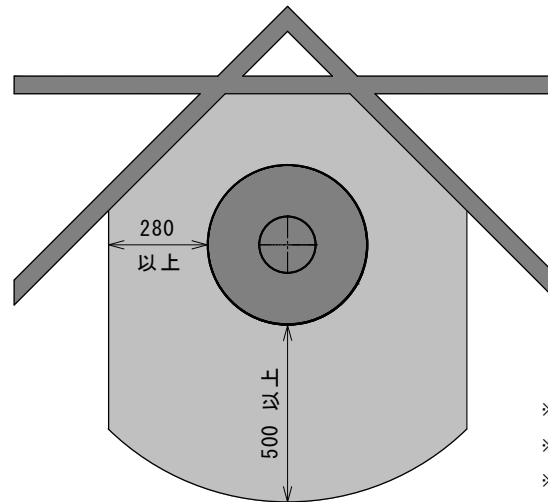


※本体離隔距離と煙突離隔距離を比較して最大の数値を採用して下さい。  
 ※室内煙突がシングル煙突の場合は、煙突ヒートシールドが必要です。

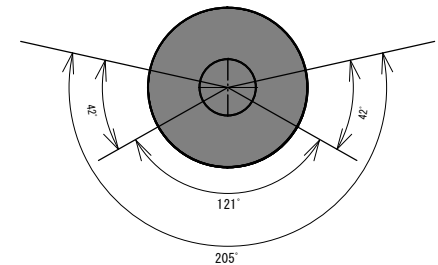
炉台保護範囲最少寸法

\*非回転時

- ※表記の数値はEN基準に基づいた離隔距離です。
- ※本体前方と可燃物（家具等）との離隔距離は1,000mm以上として下さい。
- ※デリーは回転が可能です。（左右各42度まで）
- 設置時には回転角度を考慮した離隔距離を確保して下さい。
- ※本体上面と可燃物との離隔距離は750mm以上として下さい。



最大回転角度



- ※ストーブを設置する床面は、不燃材のフロアプレートで保護して下さい。
- ※フロアプレートの寸法は、前方500mm、側方280mm以上として下さい。
- ※回転機能を使用する場合には、回転角度を考慮して下さい。

DATE	MEMO

**Nagano and Sohsoyo Company Limited**

Phone: 0267-32-2353 Fax: 0267-32-2690

SUBJECT 本体離隔距離

ハーゼ  
SHEET TITLE Delhi デリー114

SCALE 1/15

DATE '22 | 2 | 25

DRAFT Kobayashi CON

SHEET NO.

※ストーブを設置する床面は、不燃材のフロアプレートで保護して下さい。

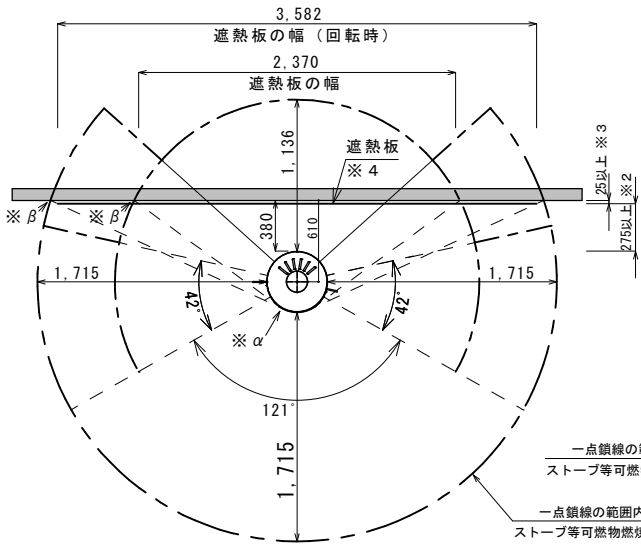
※フロアプレートの寸法は、前方500mm、側方280mm以上として下さい。

<b>本体寸法 (cm)</b>	<b>A<sub>v</sub> : ストープ鉛直投影面積 (cm<sup>2</sup>)</b>	<b>L<sub>s</sub> : 可燃物燃焼水平距離 (mm)</b>	<b>遮熱板設置時最小距離 (mm)</b>
H 高さ 113.5	正面/背面 A <sub>v</sub> = 113.5 × 45.0 = 5107.5	正面 (ガラス) L <sub>sop</sub> = 2.40√A <sub>v</sub> ≒ 1715	正面 = 572
W 幅 45.0	側面 A <sub>v</sub> = 113.5 × 45.0 = 5107.5	側面 L <sub>sop</sub> = 1.59√A <sub>v</sub> ≒ 1136	側面 = 380/572
D 奥行 45.0	<b>A<sub>h</sub> : ストープ水平投影面積 (cm<sup>2</sup>)</b>	側面 (ガラス) L <sub>sop</sub> = 2.40√A <sub>v</sub> ≒ 1715	背面 = 380
	上面 A <sub>h</sub> = 1589.6	背面 L <sub>ssl</sub> = 1.59√A <sub>v</sub> ≒ 1136	
		<b>H<sub>s</sub> : 可燃物燃焼垂直距離 (mm)</b>	
		上面 H <sub>s</sub> = 874	

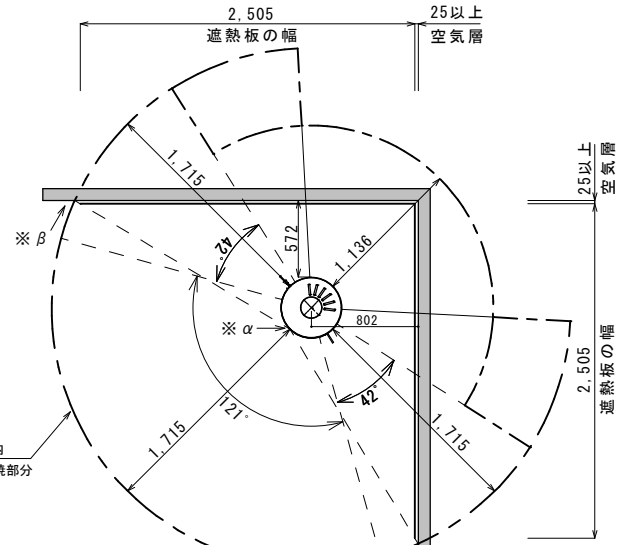
- ※1 : ストープ等は1秒間当の発熱量が18kw以下のもの
- ※2 : 遮熱板等とストープ等との距離 (遮熱板等の厚みを含む) は27.5cm以上とすること
- ※3 : 遮熱板等とストープ等可燃物燃焼部分の壁との距離は2.5cm以上とすること
- ※4 : 特定不燃材料とする

<b>特定不燃材料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート</li> <li>・れんが</li> <li>・瓦</li> <li>・陶磁器質タイル</li> <li>・繊維強化セメント板</li> <li>・ガラス繊維混入セメント板 (厚さ3mm以上)</li> <li>・繊維混入ケイ酸カルシウム板 (厚さ5mm以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄鋼</li> <li>・金属板</li> <li>・モルタル</li> <li>・しっくい</li> <li>・石</li> <li>・せっこうボード (厚さ12mm以上でボード用原紙の厚さが0.6mm以下のもの)</li> <li>・ロックウール</li> <li>・グラスウール板</li> </ul>
---------------	--	--

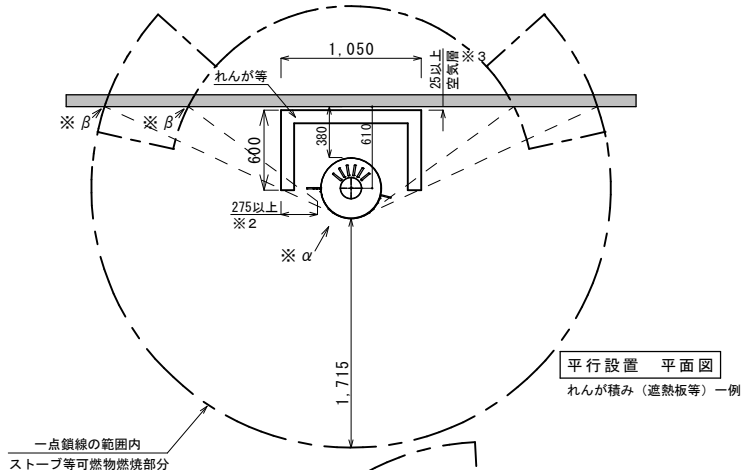
ストープ角 (※α) と、ストープ等可燃物燃焼部分と可燃物の交点 (※β) を結んだ直線上に、特定不燃材料等の遮熱板を設け有効に遮熱すること



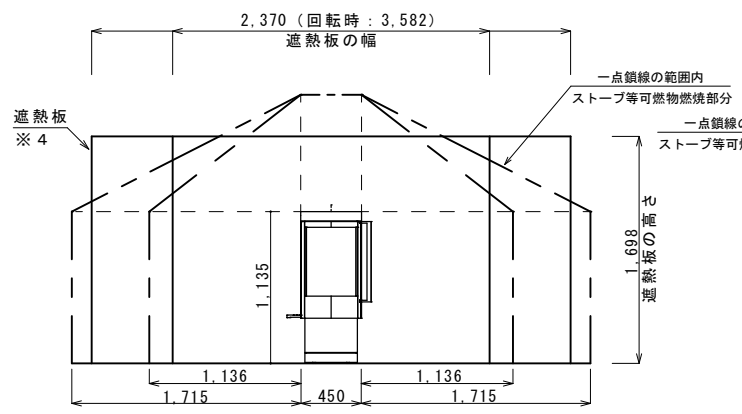
平行設置 平面図



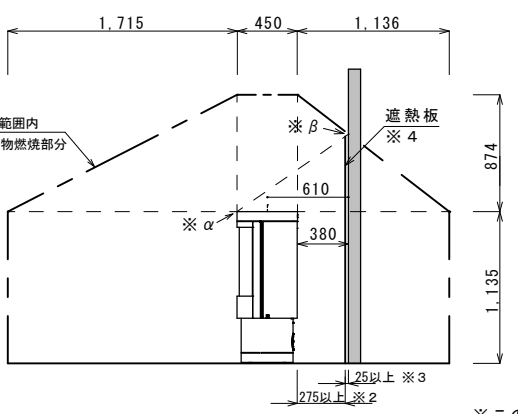
コーナー設置 平面図



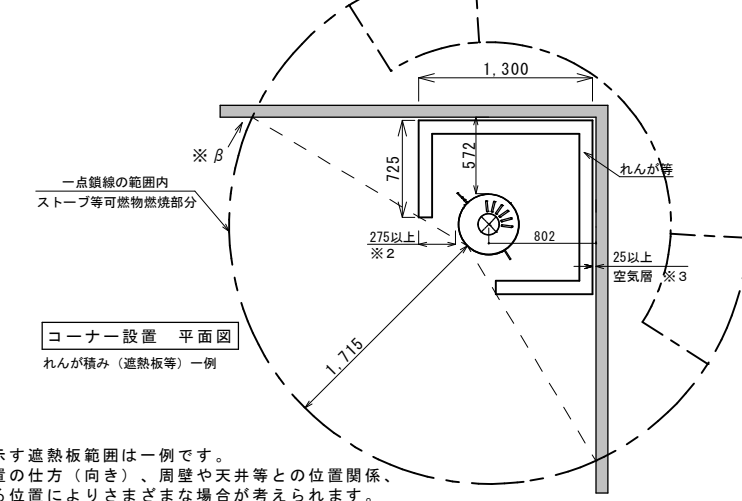
平行設置 平面図  
れんがが積み (遮熱板等) 一例



平行設置 正面図



平行設置 側面図



コーナー設置 平面図  
れんがが積み (遮熱板等) 一例

※この資料に示す遮熱板範囲は一例です。ストープの設置の仕方 (向き)、周壁や天井等との位置関係、遮熱板を設ける位置によりさまざまな場合が考えられます。

DATE	MEMO

**Nagano and Sohso Company Limited**  
Phone: 0267-32-2353 Fax: 0267-32-2690

SUBJECT	機種名
内装制限告示内容に基づく設置図	ハーゼ デリー114
SCALE 1:40	DATE '21/11/20
CHECK	DRAFT Kobayashi
	CON
	SHEET NO.